



あなた、正解にするまでやり続けています~??

ひろよしくんのみみ
2023年11月号 No.411
<https://www.myfs.co.jp>



～信念のある会社を作る方法はこれだ！！～

先月下旬から急激に気温が下がりましたが、体調管理は大丈夫でしょうか？東京ではインフルエンザが猛威を振るう気配があります。皆さん体調管理には十分気を付けて下さいネ！！

10月7日パレスチナ暫定自治地区のガザ地区を実効支配するイスラム組織ハマスが突如イスラエルへの攻撃を開始しました。この報復としてイスラエルがミサイルを発射。10月20日現在で双方の死者数は5,500人を超えています。第二次世界大戦で、あれだけ戦争の悲惨さを各国が経験しているにも拘わらず、ロシアのウクライナ侵攻、ハマスのイスラエル攻撃と人間は何故同じ間違いを繰り返すのでしょうか？本当に残念です。

きな臭い情報が飛び交う毎日ですので、今月は少し華やかな話をしたいと思います。人生で最も華やく瞬間の1つが結婚式ですよね。最近の日経ビジネスにも掲載されていたのですが、皆さんはブライダル衣装デザイナーの桂由美氏をご存じでしょうか？私も島田晴雄先生（慶応義塾大学名誉教授）が主宰されている塾で時々お会いするのですが、91歳になった今でも変わらず勉強されている姿を見ると頭が下がります。

桂由美氏 プロフィール

西暦	項目
1932年	4月24日、東京にて生まれる
1963年	母が経営する洋裁学校講師時代に世界20カ国を行脚
1965年	日本初となるブライダルショップを東京の赤坂に開店
1968年	ブライダル専門書を出版（執筆した書籍は23冊とか、..）
1974年	誰でも着られる（1か月の給料で買える）ウエディングドレスを開発
1981年	アメリカ・ニューヨークに進出。
1986年	中国で初めてブライダルショーを開催
1987年	フランス・パリにてコレクションを開催
1988年	日本でFC展開を開始
1993年	ローマ法王ヨハネ・パウロ2世の祭服をデザイン
2005年	パリにて出店
2018年	中国・上海に旗艦店をオープン
2022年	福井県に名作ドレスを集めた博物館を開く

パリ留学中にオートクチュール技術を習得。ウエディングドレスのデザインを一生のビジネスにすると決意⇒東京・赤坂に桂由美ブライダルサロンを開設（まさしくドラッガーの顧客の創造！！ですネ）

ブライダルサロンを開設はしたものの、日本の花嫁衣装はほぼ100%和式。100着オーダーを貰っても途中でキャンセルする花嫁が多く、大苦戦！！日本の高度成長とともに結婚披露宴では、2回のお色直しの習慣が出来、彼女を救う！！

打ち掛けより安いかも知れないが、ウエディングドレスも高価な衣装。当時はレンタルがなかったので、OLが1か月の給料で買えるウエディングドレスを開発！！

アメリカで、ブライダルファッションショーを企画。身体にピッタリフィットしたスレンダーライン、日本の花嫁衣装の裾と同じように流れるデザインは、後に「ユミライン」と命名され大流行！！

花嫁を美しく輝かせるドレスづくりに没頭して来た桂由美氏。しかし91歳になっても第一線で輝けるのは、常に時代の流れに合わせた顧客の創造を行い、習慣を変えて来たからではないでしょうか？

ここで桂由美氏の過去を振り返ってみましょう。

1945年東京大空襲を経験したのでどんな苦難も乗り越えられる！！

